

緑風抄

宇部市地球温暖化対策ネットワークが取り組む自転車利用促進活動「Eサイクルモニター制度」。20代から

70代まで市民30人が参加し、昨年7月から今年1月まで通勤などに意識して自転車を利用した▼アベレージをもじった参加者の平均値を表す「アベちゃん」の走行距離は7カ月間で1500キ。ガソリンの節約量は150リットルで、2万2000円余りが浮いた計算になる。二酸化炭素削減量345キは、スギの木25本が1年間に吸収する量に相当する。そんな中で走行距離6077キと最も利用したのが40代後半の男性「こつてり定食」さん▼山陽小野田市厚狭に住む彼は宇部市の中心街にある職場まで片道20キの通勤路を週3〜4日、自転車を通う。通勤中に気付いた道路の危険箇所を指摘したり、自転車走行にはヘルメット着用、ライトの性能アップを提言したりもする▼自転車通勤を始めたのは3年前。「重量1トもある自動車を1人で使うことによるエネルギーのロスを感じた」と。地球温暖化対策と大上段に構えるのでなく、身近な疑問から気負わず実践が長続きのこつか。春本番。自転車で街を走るのには、いい季節を迎えた。(浅野)